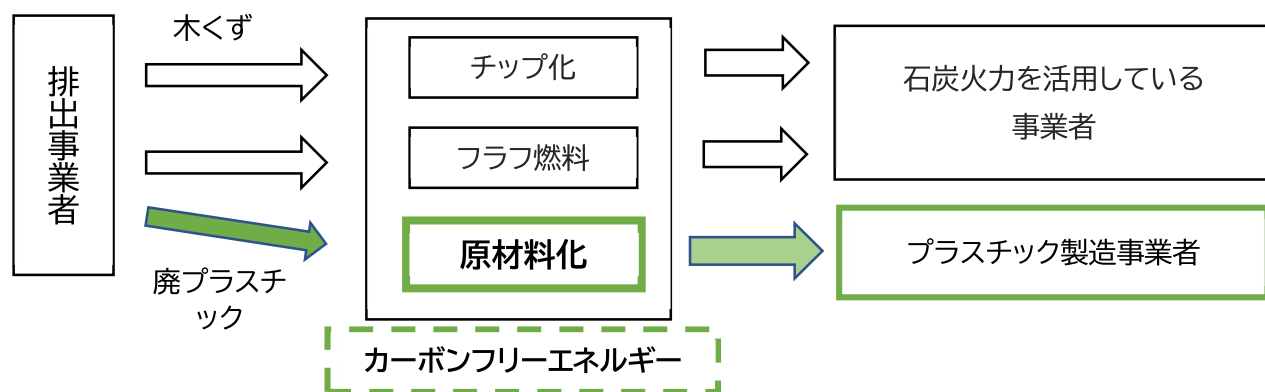


再資源化事業のさらなる脱炭素化の推進へ

- ▶(株)グーン(神奈川県横浜市金沢区 代表:藤枝 慎治)は、産業廃棄物である廃プラスチックや木くずについて、燃料材として再資源化する取組を進めています。この燃料材は、石炭火力を利用しての事業者へ販売し、石炭の代替燃料として脱炭素化に貢献しています。また、燃料材の輸送に船舶を採用するなど、CO2削減に努めています。
- ▶サプライチェーン全体でさらなる脱炭素化につなげるため、11月に廃プラスチックを原材料としての再資源化(マテリアルリサイクル化)を稼働します(3月30日発表済)。さらに再資源化プロセスにおける脱炭素を実現するため、5月より全面的にカーボンフリーのエネルギーを採用します。

1 脱炭素の加速化の概念図

(緑線部が脱炭素促進のため加わる)



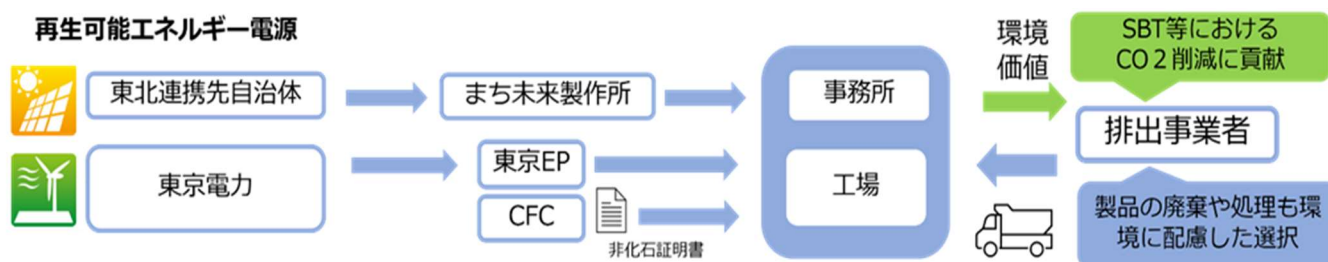
2 原材料化によるCO2削減効果(試算)

| CO2削減効果 |
|--------------|
| 1725 t-CO2/年 |

- ※ 年間の原材料生産量 2100tとした場合
- ※ プラスチックを産業廃棄物として処理した際のCO2排出量を環境省 排出原単位データベースを参考に算出した値との比較
- ※ 廃棄物の移動に係るCO2排出量は焼却、原材料化で変わらないものとする
- ※ 再資源化原材料を使用した製品作成時のCO2削減効果は算出していない

3 カーボンフリーエネルギーの調達と想定する効果

| 場所 | 調達方法 | 想定効果(2020年度実績ベース) |
|-------|--|-------------------------|
| 本社事務棟 | 「再エネ発電由来の電気の利用が東北の地域活性化につながる実証事業」を通じて電力を購入 | 37,038kwh/年=2.52t-CO2/年 |
| 本社工場 | RE100対応の非化石証書を購入(電力比率100%) | 2,874,287kwh=196t-CO2/年 |



本件に関するお問い合わせ先

- <会社名> 株式会社グーン
- <所在地> みなとオフィス:神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル10F
- <連絡先> TEL:045-228-8960 FAX:045-228-8961 MAIL:t_kitai@guun.co.jp
- <担当者> ブルーエコノミー研究所 北井 俊樹